

村里名邑

〔三代實錄十一〕貞觀七年九月廿六日甲辰、勅木工寮採銅於山城國相樂郡岡田郷、

〔郡名一覽二〕山城國御料私領 城州 南北一日半餘 八郡

高貳拾貳萬四千貳百五拾七石七斗八升八合壹勺六才 四百五拾九ケ村

●二條御城 江戶ヨリ百二十三里 ●淀 同百二十五里半 大坂八里

○伏見 京へ三里 大坂九里 入京 入宇治 江戶百二十六里

○按ズルニ、本書凡例ニ、●城、□城主格、○陣屋、×寄合衆在所、其外在所住居、(陪臣在所、□公儀御役所、入御代官陣屋トアリ、

〔郡國提要〕山城 八郡四百七十七村 高御料私領二萬三千三百三十一石七斗六升八勺六才五札

葛野郡八十一村 愛宕郡八十一村 宇治郡五十一村 紀伊郡三十四村 乙訓郡五十二村

久世郡四十二村 綴喜郡五十四村 相樂郡八十二村

〔地勢提要坤〕郡邑島嶼奇名

山城 愛宕郡オタタキ葛野郡カト乙訓郡オクニ神足村カウタリ開田村カイデン雞冠井村カイイデ相樂郡サガラ有市村アチ鹿背山村カセヤマ綺田村カキタ久世郡キウセ富野村イモアラヒ一口村イモアラヒ宇治郡ウヂ木幡村コハタ川邊郡カワノヘ毘陽宿ヒヨウヤク中食滿村ナカケミ次屋村ツキヤ

〔古事記中應神〕一時天皇越幸近淡海國之時、○中 故到坐木幡村之時、麗美孃子遇其道衢、○下

〔山州名跡志十五〕宇治郡 木幡里 今稱木幡村、自金辻南二町計南至五箇庄、

〔延喜式二十一〕巨幡墓贈一品伊豫親王、在山諸陵 宇治郡、○下略、

〔拾遺和歌集十九〕題戀ゑらす

山しなのこはたの里に馬はあれどかちよりぞくる君を思へば

〔源平盛衰記六〕西光卒都婆事

或人ノ云ケルハ、今生ノ災害ハ、過去ノ宿習ニ報ベシ、貴賤不免其難、僧俗同ク以テ在之、西光モ先

ひとまろ